

イベント開催の報告

Network Security Forum 2014

2014年1月29日(水)、東京・ベルサール神田にてJNSA主催シンポジウム「Network Security Forum 2014」が開催されました。情報セキュリティ政策会議、総務省、経済産業省、独立行政法人情報処理推進機構からのご後援のもと、当日はのべ275名の参加者をお迎えし、盛況のうちに終了いたしました。

ここ数年は標的型攻撃やサイバー攻撃の進化、クラウドコンピューティングの利用拡大などを受けて、そのための情報セキュリティ対策が重要な課題になっています。しかしながら、何事においても人が最後の砦であり、また課題でもあります。今回のセミナーは、プライバシー問題や内部不正問題、ID管理問題など、人的要因による課題にフォーカスしたことが特徴です。

プログラムは、新潟大学・鈴木正朝教授の基調講演、SSH Communications SecurityのTatu Ylonen氏による特別講演を始め、JNSAのワーキンググループからの成果発表、パネルディスカッションなど、2トラックに分かれて多岐に亘る講演・討議が行われました。

以下に基調講演・特別講演の概要とシンポジウムプログラムをご紹介します。

なお、各講演の資料(一部を除く)はJNSAのWebサイトで公開していますのでぜひご覧下さい。

<http://www.jnsa.org/seminar/nsf/2014/pro.html>



【基調講演】

「個人情報保護法改正の論点」

鈴木 正朝 氏
新潟大学 法学部 教授

まず、いわゆる「個人情報保護法」について、最近の国際・国内動向をご説明いただきました。

今般注目されるビッグデータの活用について、その収集・分析により新事業やサービスが創出され、我が国発のイノベーション創出にもつながること、そのための法的環境整備の重要性や、将来の事業展開の可能性についても言及されました。

今回の基調講演の時間は40分と短い時間でしたが、夕刻の対談「パーソナルデータに関する制度、技術、ビジネスの方向性について」においても続きが議論されました。

【特別講演】

「重要な国家インフラにおいて、暗号化された環境が十分に管理されていない場合のリスクについて」

Tatu Ylönen 氏
SSH Communications Security社
Chief Executive Officer

大規模なUnix/Linux環境がある企業や組織でありがちな重大なセキュリティ・コンプライアンスの問題として、「管理されていない承認済み鍵」という問題があるが、この問題の範囲や影響はまだ広く理解されてはいない現状を解説いただきました。

この問題を含め、情報セキュリティにとって重要な機密性・完全性・継続性を維持するためには、誰がどのシステムや情報にアクセスできるかを知ることが大変重要であり、これは「暗号化アルゴリズム」の問題ではなく、「アクセス」の問題である、という認識が重要であるということです。

Secure Shell (SSH) の開発者として、具体例に満ちた興味深いお話をいただきました。

【内部不正対策ソリューションガイド公開イベント～これでわかる内部不正対策！】

組織で働く人間が起こす不正・事故WGでは、IPAが昨年3月に制作した「組織における内部不正防止ガイドライン」に対応した製品・サービスを紹介する、「JNSAソリューションガイド」を完成させ、ホームページで公開しました。

今回はその公開イベントとして、「JNSAソリューションガイド」を広く社会で活用して頂くため、「内部不正を防ぐ」をテーマに掲げ、講演・パネルディスカッションを行いました。

1. ソリューションガイドの紹介

ソリューションガイド制作の中心であった、みずほ情報総研株式会社の小川博久氏より、「JNSAソリューションガイド」の紹介がありました。

2. 営業秘密をめぐる最近の問題と経済産業省の取組

経済産業省知的財産政策室 課長補佐の中野美夏氏より、日本における営業秘密保護法制の変遷、営業秘密侵害の事件、企業における秘密漏えいの実態や対策について、アンケートやヒアリングによる具体例の提示と共に解説いただきました。

3. 内部不正ガイドラインの取組み

独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) の益子るみ子氏により、2013年3月に公開されたIPA「組織における内部不正防止ガイドライン」について、その制作の背景・目的・構成の説明、実際の利用の仕方について解説がありました。

4. パネルディスカッション

最後に、下記メンバーによるパネルディスカッションが行われました。

モデレータ:

小川 博久 氏 (みずほ情報総研株式会社)

イベント開催の報告

パネリスト:

- 甘利 康文氏 (セコム株式会社 IS 研究所)
宮内 宏 弁護士 (宮内宏法律事務所)
山田 英史氏 (株式会社ディアイティ)
高橋 潤氏 (株式会社リンクアンドモチベーション)

【パネルディスカッション 電子署名WG】

「電子署名をめぐる国内外の最新動向」

<モデレーター>

電子署名WGリーダー 宮崎 一哉氏
(三菱電機株式会社 情報技術総合研究所)

<パネリスト>

佐藤 雅史氏 (セコム株式会社 IS 研究所)
宮地 直人氏 (有限会社ラング・エッジ)
村尾 進一氏 (セイコーソリューションズ株式会社)

電子署名 WG では今年度の WG 活動と 3 つのタスクフォース(TF) 活動(署名検証 TF/PAAdES プロファイル TF/スキルアップ TF) により電子署名/タイムスタンプについての標準化活動や勉強会をおこなうと共に、欧州 ETSI/ESI との連携により海外の情報も収集してきました。これらの活動を通して得た知見をベースに、国内外における電子署名の市場や技術に関する最新動向をパネルディスカッションを通して紹介しました。

【セキュリティ被害調査WG】

「個人情報漏えいインシデントの調査結果に基づく最近のインシデント傾向について」

被害調査WGリーダー 大谷 尚通氏
(株式会社NTTデータ)

「情報セキュリティインシデントに関する調査報告書 個人情報漏えい編」のデータから、最近の個人情報および機密情報漏洩の変化を解説するとともに、個人情報漏えいのリスクの変化について発表しました。

続いて、トラック 2 で行われたセッションをご紹介します。

【JNSA 情報セキュリティ市場調査2012年結果速報】

セキュリティ市場調査WG 土屋 日路親氏
(イーロックジャパン株式会社)

2004 年度以来継続して実施しているセキュリティ市場調査の 2012 年度調査結果について、速報段階のデータとその説明がされました。

【パネルディスカッション アイデンティティWG】

「エンタープライズ・ID連携トラストフレームワークにおけるポリシーのあり方」

<モデレーター>

アイデンティティ管理WGリーダー
宮川 晃一氏 (日本ビジネスシステムズ株式会社)

<パネリスト>

南 芳明氏 (株式会社シマンテック)
富士榮 尚寛氏 (伊藤忠テクノソリューションズ株式会社)
中島 浩光氏 (株式会社マインド・トゥー・アクション)
江川 淳一氏 (エクスジェン・ネットワークス株式会社)

アイデンティティ管理 WG では、2012 年度より「ID 管理におけるトラストフレームワークのエンタープライズにおける活用」について継続的に討議していますが、企業間のトラストフレームワークを考える上で非常に重要な「ポリシー」について、その考え方をパネルディスカッションしました。

【パネルディスカッション SECCON】

「触媒としてのセキュリティコンテスト～ SECCONの現在までの取組とこれからの展望」

<モデレータ>

SECCON実行委員長 竹迫 良範氏
(サイボウズ・ラボ株式会社)

<パネリスト>

寺島 崇幸氏 a.k.a. tassy(AVTokyo/sutegoma2)
宮本 久仁男氏 (株式会社NTTデータ/情報セキュリティ大学院大学)
坂井 弘亮氏

セキュリティコンテスト(SECCON)は、2012年に有志による開催が行われ、2013年にJNSAでの取組となりました。SECCONでは、いわゆるCTF以外にも、アセンブラ短歌やバイナリかるたをはじめとする各種試みが行われています。SECCONのこれまで



の取組や試み、そして準備のための作業に携わった人たちを交え、2年間の中で得られた知見や意見、そしてよりよい取組とするためにどのように運営していくべきか、について発表しました。

セッションの最後には、SECCONで実際に行われている競技「バイナリかるた」を参加者の方々に体験していただきました。

【対談】

「パーソナルデータに関する制度、技術、ビジネスの方向性について」

<司会>

高橋 正和氏 (日本マイクロソフト株式会社)

<対談者>

鈴木 正朝氏 (新潟大学法学部 教授)

松本 泰氏 (セコム株式会社 IS研究所)

政府のIT総合戦略本部が設置した「パーソナルデータに関する検討会」及び「技術検討ワーキンググループ」では、パーソナルデータに関する利活用ルールの明確化等に関する調査及び検討を行い、2013年12月10日に開催された第5回会合において「パーソナルデータの利活用に関する制度見直し方針案」及び「技術検討ワーキンググループ報告書」を公表しました。

この「方針案」と「報告書」の内容や意義等を説明するとともに、「方針案」で示された制度見直し方針による個人情報保護法の改正等を念頭においたパーソナルデータに関する制度、技術、ビジネスの方向性とその在り方、今後の課題等を議論しました

以上をもって全プログラムを終了し、最後まで熱心に参加していただいた多くの聴衆の方の拍手の中、NSF2014は閉幕となりました。

イベント開催の報告

JNSA 主催 Network Security Forum 2014 (NSF 2014)

<プログラム>

トラック 1 (Room3+4/定員 160名)	トラック 2 (Room1/定員 120名)
<p>【S1】 基調講演 10:00-10:40 <40分> 個人情報保護法改正の論点 新潟大学 法学部 教授 鈴木 正朝 氏</p> <p>10:40-10:50 休憩</p> <p>【S2】 特別講演 10:50-11:50 <60分> 重要な国家インフラにおいて、暗号化された環境が 十分に管理されていない場合のリスクについて SSH Communications Security Chief Executive Officer Tatu Ylönen 氏</p> <p>11:50-12:50 昼休み</p>	
<p>【A1】 組織で働く人間が起こす不正・事故対応 WG 12:50-14:50 <120分> 内部不正対策ソリューションガイド公開イベント ～これでわかる内部不正対策！～</p> <p>1. ソリューションガイドの紹介 組織で働く人間が起こす不正・事故対応 WG 小川 博久 氏 (みずほ情報総研株式会社)</p> <p>2. 営業秘密をめぐる最近の問題と経済産業省の取組 経済産業省知的財産政策室 課長補佐 中野 美夏 氏</p> <p>3. 内部不正ガイドラインの取組み 独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) 益子 るみ子 氏</p> <p>4. パネルディスカッション モデレーター: ◇小川 博久 氏 (みずほ情報総研株式会社) パネリスト: ◇甘利 康文 氏 (セコム株式会社 IS 研究所) ◇宮内 宏 弁護士 (宮内宏法律事務所) ◇山田 英史 氏 (株式会社ディアアイティ) ◇高橋 潤 氏 (株式会社リンクアンドモチベーション)</p> <p>14:50-15:00 休憩</p>	
<p>【A2】 電子署名 WG 15:00-15:50 <50分> 【パネルディスカッション】 電子署名をめぐる国内外の最新動向 モデレーター: ◇宮崎 一哉 氏 (電子署名 WG リーダー/ 三菱電機株式会社 情報技術総合研究所)</p> <p>パネリスト: ◇佐藤 雅史 氏 (セコム株式会社 IS 研究所) ◇宮地 直人 氏 (有限会社ラング・エッジ) ◇村尾 進一 氏 (セイコーソリューションズ株式会社)</p>	<p>【B1】 セキュリティ市場調査 WG 12:50-13:10 <20分> JNSA 情報セキュリティ市場調査 2012 年結果速報 セキュリティ市場調査 WG 土屋 日路親 氏 (イーロックジャパン株式会社)</p> <p>【B2】 アイデンティティ管理 WG 13:10-14:00 <50分> 【パネルディスカッション】 エンタープライズ・ID 連携トラストフレームワーク におけるポリシーのあり方 モデレーター: ◇宮川 晃一 氏 (アイデンティティ管理 WG リーダー/ 日本ビジネスシステムズ株式会社)</p> <p>パネリスト: ◇南 芳明 氏 (株式会社シマンテック) ◇富士 榮 尚寛 氏 (伊藤忠テクノソリューションズ株式会社) ◇中島 浩光 氏 (株式会社マインド・トゥー・アクション) ◇江川 淳一 氏 (エクスジェン・ネットワークス株式会社)</p> <p>14:00-14:10 休憩</p>
<p>【A3】 セキュリティ被害調査 WG 15:50-16:20 <30分> 個人情報漏えいインシデントの調査結果に基づく 最近のインシデント傾向について 被害調査 WG リーダー 大谷 尚通 氏 (株式会社 NTT データ)</p>	<p>【B3】 SECCON 14:10-16:10 <120分> 【パネルディスカッション】 触媒としてのセキュリティコンテスト ～SECCONの現在までの取組とこれからの展望 モデレーター: ◇竹迫 良範 氏 (SECCON 実行委員長/ サイボウズ・ラボ株式会社)</p> <p>パネリスト: ◇寺島 崇幸 氏 a.k.a. tessy (AVTokyo/sutegoma2) ◇宮本 久仁男 氏 (株式会社 NTT データ/ 情報セキュリティ大学院大学)</p> <p>◇坂井 弘亮 氏</p>
	<p>16:10-16:20 休憩</p> <p>【B4】 16:20-18:00 <100分> 【対談】 パーソナルデータに関する制度、技術、ビジネスの 方向性について 司 会: ◇高橋 正和 氏 (日本マイクロソフト株式会社) 対談者: ◇鈴木 正朝 氏 (新潟大学法学部 教授) ◇松本 泰 氏 (セコム株式会社 IS 研究所)</p>